

NEWSLETTER



大阪女学院大学 大阪女学院短期大学

教 員 養 成 セ ン タ ー

- 巻頭エッセイ「絆」..... 1
- 教員免許状更新講習追加実施案内..... 1
- 特集：「英語の教え方教室」..... 2

- 第3回～第6回勉強会報告..... 2, 3
- 授業の玉手箱「ニュアンスの活用」..... 4
- 書籍紹介『英語リーディングの科学「読めたつもり」の謎を解く」..... 4

巻頭 エッセイ

絆

夫 明美

昨年末、清水寺を舞台にして、2010年「今年の漢字」が発表されました。2010年は野菜を高騰させた記録的な猛暑の影響か、「暑」が選ばれました。全国学生グループアンケートで学生に選ばれた一字は「迷」、就活に迷う学生の姿が目に見えます。ちなみに菅総理が選んだ一字は「行」でした。

さて、国内・国外での大きな出来事を振り返ると、私には「絆」という一字に象徴されるものが強く印象に残ったように思います。初夏の日本をサムライブルーに染めた日本代表選手、チリの鉱山で2ヶ月あまりも地下に閉じ込められたあと無事生還された作業員の方々。いずれもチームの固い結束、それを取り囲む人々との間の強い結びつきを感じずにはおれませんでした。その反面、「無縁社会」や「すべり台社会」という言葉に象徴されるように、人と人との結びつきや人間と社会の結びつきが弱くて薄いものになりつつある厳しい社会状況も現代の日本を取り巻いている様子です。「絆」を少し異なる観点から考えてみましょう。

少し前の話になりますが、夏休みに古い本棚を整理していた時、数年前に何度も読み返した一冊の本を再び手にすることがありました。気に入った箇所をメモ書きしていたものも残っていたので、再び読み返してみました。過去に心に響いた箇所は依然として強い感動をもたらすものでしたが、以前とは異なる解釈を持ったり、昔は気づかなかった箇所が心に響いてくるものがありました。「不思議だな」と思うと同時に、自分の中に「変わる部分と変わらない部分」があるのも面白いことだと思いました。

同じようなことが、10年ぶりに訪れた美術館で、以前興味をもって眺めた絵画を再び見たときにも起こりました。学生時代の私にはロマンチックな印象だけが鮮やかにうつつたので、今回も気分の高揚があるのではないかと胸を高ぶらせながら、展示室へと足を速めました。再びその絵を目の前にした時に、再会を喜ぶ気持ちもありましたが、以前は全く思いもしなかった一抹の寂しさや薄い倦怠のようなものが、絵の中に描かれているようにうつりました。その時にも、年齢や経験を経るにつれて変わる部分と変わらない部分があることが面白いものだと思います。そこには時間を越えて過去の自分とコミュニケーションしているような興味深さがありました。次にその絵を目にするときはどのような印象を持つのかも興味深いところです。

絆というものは人と人之間だけに限られるものでも、時間軸上のある一点だけに限られるものではないのかもしれない、と書物や芸術作品に改めて教えられた2010年でした。

大阪女学院大学

平成22年度「教員免許状更新講習」追加講習

「コミュニケーション・ルール：その基盤となる概念を考える」

平成23年3月12日(土) 9:20～16:50

- ディベートの考え方 — 論理的に説得することの意味とそれに必要なこと —
担当：中井 弘一 大阪女学院大学 教授
- 異文化間コミュニケーションの考え方 — 違いを理解し表現すること —
担当：東條 加寿子 大阪女学院大学 教授

社会や経済のグローバル化の急速な進展に伴い、単に受信した外国語を理解することにとどまらず、コミュニケーションの中で自らの考えなどを相手に伝えるための「発信力」の育成がより重要となっている。ただそれには、やみくもに発信するのではなく、それぞれの言語のコミュニケーションを行うためのルールを身に付けておく必要がある。

そうした能力の開発のため、ディベートというコミュニケーション活動が昨今よく取り上げられている。本講座でも一つのテーマとして、「ディベートの考え方—論理的に説得することの意味とそれに必要なこと—」を取り上げ、「ディベートとは何か」という基本概念の理解をもとに「ディベートは面白い」という興味関心の喚起を促す指導を考える。

コミュニケーション・ルールのもう一つのテーマとして、「異文化間コミュニケーションの考え方—違いを理解し表現すること—」を取り上げる。英語でのコミュニケーションには異文化の視点が不可欠である。この講習では、異文化間コミュニケーションの諸要素（高・低コンテクスト、active listening, assertive communication 等々）を取り入れた議論・会話活動・メディア理解に取り組む。

○ 定員・対象

中学校英語科教員・高等学校英語科教員 計30名
(定員を超える場合は申し込み先着順にて締め切り)

○ 受講申し込み：

平成23年1月17日(月)より平成23年2月28日(月)までに大阪女学院大学 教員養成センター「教員免許状更新講習」担当へお申し込みください。申し込みされた方には、本学より受理確認メールをお送りします。申し込み受理確認後に、改めて受講申請書を配付します。

○ 受講料

3,000円 (所定の口座へ振り込み)

教員養成センター「教員免許状更新講習」担当：田中 礼子
電話：06-6761-9371 Fax：06-6761-9373

E-mail: ttc@wilmina.ac.jp

参照URL:

<http://www.wilmina.ac.jp/ojc/edu/ttc/menkyo-koushu2010>